

# 災害時におけるDISAANA、 D-SUMMの活用

~DISAANA·D-SUMMと防災チャットボットSOCDA~

2020年2月5日

国立研究開発法人情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 データ駆動知能システム研究センター/ 耐災害ICT研究センター 応用領域研究室(兼務)

大竹清敬





### 情報通信研究機構(NICT)の紹介

- ▶情報通信を研究する唯一の国立の研究機関 (総務省所管)
- ▶国家サービス:日本標準時の決定と標準電波の発信 (電波時計の電波)

→本部は東京都小金井市。他に京都、兵庫、大阪、 宮城、茨城等に研究開発拠点







### 大規模災害時のSNS利用上の問題

- •SNSはリアルタイム性が高いので災害時 に役立つ/役立てたい
- ただし、情報量が膨大→必要とする情報 を探すことが困難
- ・情報の信憑性、デマによる混乱

NICTではこれらの問題を解決し、災害対応を支援するシステムを研究開発





### 本日ご紹介するシステム

NICTにて現在試験公開しているTwitterを対象とした2つのシステムと、内閣府SIPプロジェクトにて研究開発中の新しいシステム

- 1. 対災害SNS情報分析システムDISAANA® (ディサーナ; DISAster-information ANAlyzer)
- 2. 災害状況要約システムD-SUMM®(ディーサム; Disasiter-information SUMMarizer)

# https://disaana.jp

にてどなたでも無償で利用可能

3. 防災チャットボットSOCDA 内閣府SIPプロジェクトにて防災科学技術研究所、ウェザーニューズとともに共同で研究開発を実施。LINE、情報法制研究所が協力機関





# 対災害SNS情報分析システムDISAANA® (ディサーナ)





# DISAANA (ディサーナ)

- SNS(ツイッター)上の災害関連情報をリアルタイムに深く分析・整理して、状況把握・ 判断を支援し、救援、避難の支援を行う質問応答システム
- ツイートしてから5秒で分析結果を提供可能
- 熊本地震の際には、ツイッター社から人道支援として協力いただき1ヶ月ほど100%のツ イートの分析結果を提供(平時は10%サンプル)
- D-SUMMとあわせて民間企業へのライセンスも締結



住民、救援団体からの質問 (例:「熊本県で何が不足し ていますかl)に瞬時に回答



2015年4月より一般公開中

熊本地震の際、首相官邸で活用

- 指定避難所以外のニーズ把握
- 日々変化する要望の把握

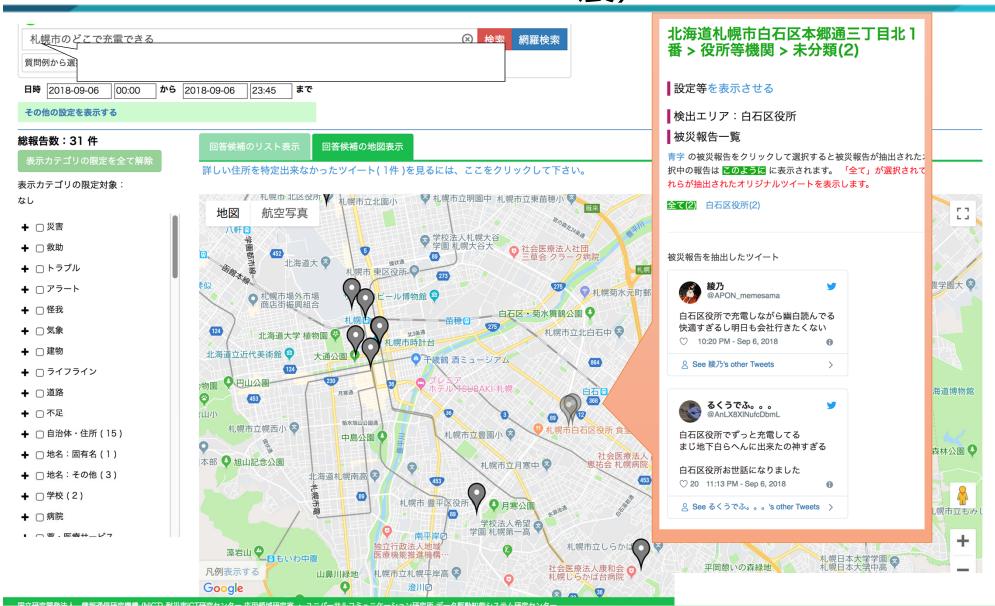
熊本県へ指示

2016年5月11日読売新聞夕刊 面等、報道多数





# DISAANA動作例(H30年北海道胆振東部地震)





## キーワード検索の問題



#### 宮城県では何が不足しているのかしら?

宮城 不足 検索

- 仙台市ではガスボンべが足りません
- 気仙沼では薬がなど
- → 名取の~では紙オムツが売り切れ
- 若林区では飲料水が見つからない

- 宮城県では毛布が不足しています
- 宮城ではトイレが不足の模様
- 宮城では燃料が不足しているかも





## キーワード検索の問題



#### 宮城県では何が不足しているのかしら?

宮城 不足

検索

- ★ 仙台市ではガスボンへが足りません。
- 気仙沼では薬がない
- 一 石巻ではガソリンが枯渇している。
- 名取の~では紙オムツが売り切れ
- 若林区では飲料水が見つからない

- 宮城県では毛布が不足しています
- 宮城ではトイレが不足の模様
- 宮城では燃料が不足しているかも

DISAANAではこれらも網羅的に抽出



### DFRECT キーワード検索では大量のツイートを読む必要

### 台風18号による鬼怒川決壊

対象時間:2015年9月10日5:00-19:00

対象ツイート数:340万件

質問: どこで救助を待っているか

**回答種別:27件** (94 ツイート)

実体験:4件、他マスコミ経由等

質問:栃木でどこが孤立しているか

**回答種別:12**(16ツイート)

実体験:6件

質問:どこが決壊しているか **回答種別:181**(543ツィート)





# デマ対応の例

東日本大震災試用版での動作例

質問:千葉の石油コンビナートで 何が発生している

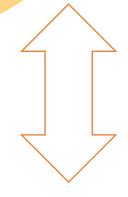




れません。

回答候補が抽出されたツイート:

…今後の雨が非常に強い 酸性雨になります…



回答候補と矛盾するかも しれないツイート:

…酸性雨になるというの はデマです…

矛盾する情報を同時に検索し提供することで情報の信憑性を判断する材料を提供



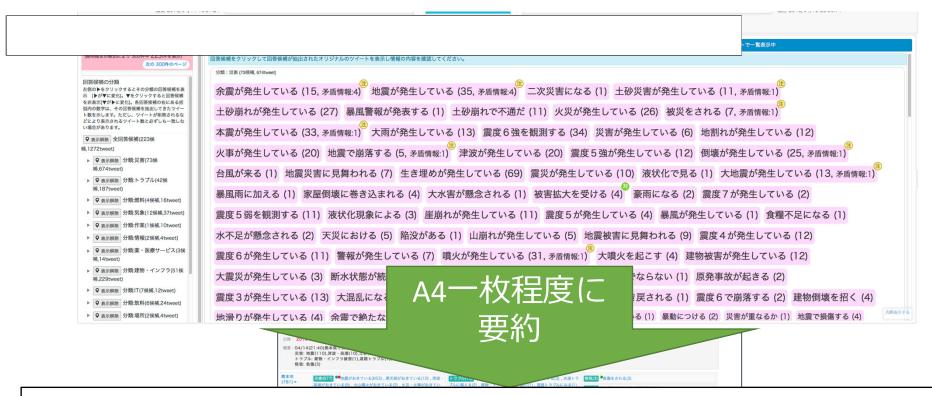


# 災害状況要約システム D-SUMM® (ディーサム)





### D-SUMM研究開発の背景



#### D-SUMM (Disaster-information SUMMarizer)

- ほぼ同じ意味の被災報告を集約し、コンパクトに表現
- 被災報告をカテゴリ毎・場所毎に整理し、災害状況の把握が容易







## D-SUMM (ディーサム)

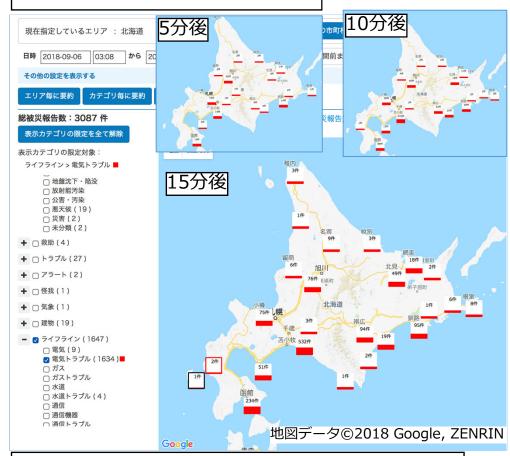
- 2016年10月18日一般公開(https://disaana.jp/d-summ)
- SNS(ツイッター)上の災害関連情報をリアルタイムに深く分析し、自治体毎に整理して、一目で状況把握・判断を可能とし、救援、避難の支援を行うシステム (内閣府 SIPの支援を受けて研究開発)
- 民間企業へのライセンスを締結済み





#### NICT災害状況要約システムD-SUMM 平成30年北海道胆振東部地震 動作例(1)

#### 道内の停電状況をチェック



9/6 3:08-3:23で電気トラブル(停電)を地図表示: 抽出した報告のうちの過半数が停電の報告であり、 発災直後15分でほぼ全道的に停電になっていること を確認

#### 道内の土砂災害・建物被害をチェック

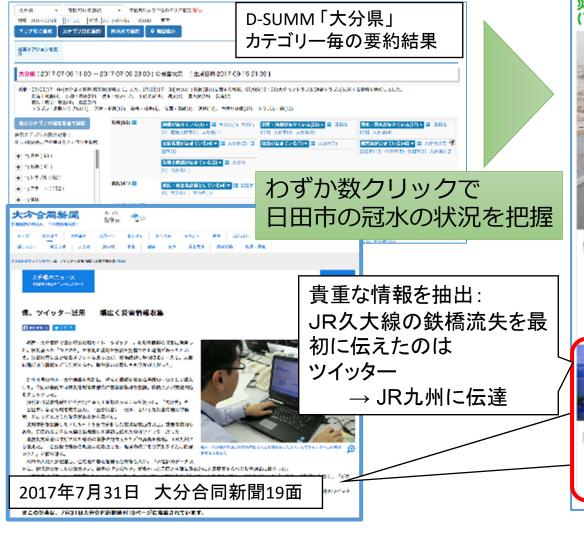


9/6 3:08-4:38で土砂災害、生き埋め、建物被害を地図表示:発災後1時間半で厚真町、札幌市での被害報告が目立つことを確認



### DFRECT 九州北部豪雨(2017年7月上旬)での活用

2017年7月の九州北部豪雨の際に大分県がDISAANA・D-SUMMを活用して情報分析を実施し、災害対応に役立てた





(これまで)情報は、人 をばらまき、電話をして とりにいくもの





### DISAANAとD-SUMMの使いわけ

- お薦めの使い方:
  - ▶何が起きているかよくわからない! → D-SUMM
  - ▶調べたいことがはっきりしている(どこが決壊しているのか知りたいなど)→ DISAANA
  - ▶DISAANAとD-SUMMの違い:DISAANAには、「関連するツイート中のキーワードを網羅的にチェック」する機能がある(要するにキーワード検索のように精度を犠牲にして網羅性をあげることが出来る)のでとにかく関連するツイートを見たい場合には有効





# 防災チャットボット SOCDA(ソクダ)





# おさらい: SNSの活用前

#### 救援団体の少数の担当者が、最新鋭とは言えない手段で情報収集、分析

- 下部組織への電話連絡、ファックスでの情報共有
- 直接現地に行って、状況を確認
- 情報の分析、共有は基本ホワイトボードや地図にマジックで







# おさらい: SNSの活用

救援団体の担当者よりはるかに多く、被災地の広範囲にいる被災者自身の 自発的な被災報告をビッグデータとして収集、分析

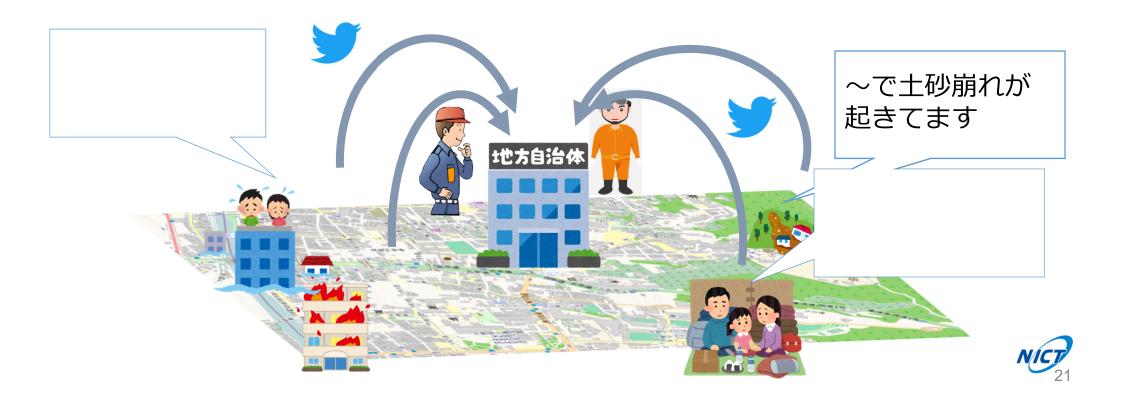
- 救援団体からアクションを取る必要はない
- 現地に行かなくても一定量の情報を収集可能
- 情報の分析、共有はタブレット、スマホ等で可能





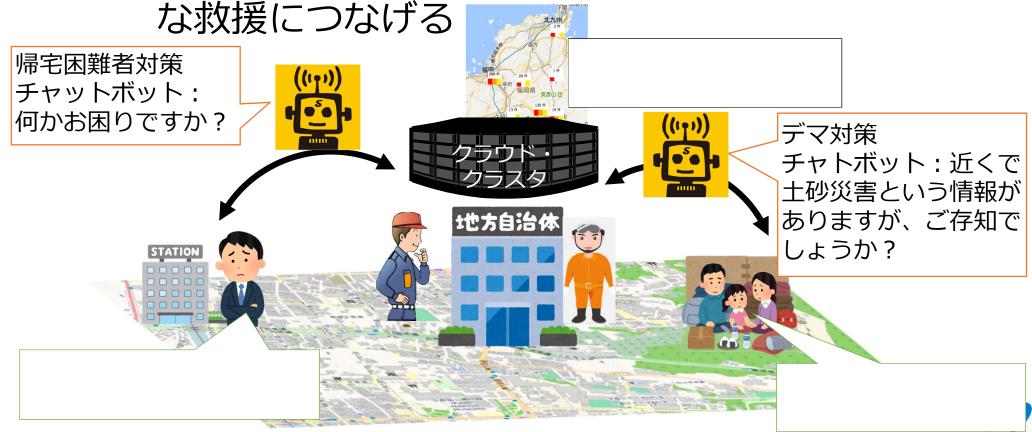
# DISAANAとD-SUMMの課題

- 情報源は自発的な被災報告だけなので、網羅性は 完璧ではない
- Twitterのような匿名アカウントであれば、無責任なデマに完全に対処することは困難
- また、救援側からのフィードバックが難しい



## DFRECT 次のステップ:防災チャットボット

- スマホ等で動作するチャットボットの導入
  - チャットボットが多数の被災者と自動的に対話
  - 能動的に情報収集や重要な情報のプッシュを実施
  - 対話の結果は自動的に集計、分析を行い、効率的



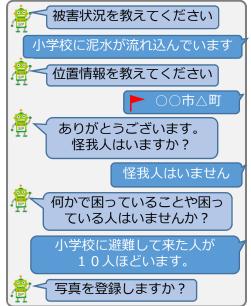
#### 災害時にSNS上で情報収集、情報提供を行う防災チャットボットの研究開発

(戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)国家レジリエンス(防災・減災)の強化「避難・緊急活動支援統合システムの研究開発」 対話型災害情報流通基盤の研究開発)

共同研究開発機関:国立研究開発法人防災科学技術研究所(NIED)、株式会社ウェザーニューズ(WNI)、国立研究開発法人情報通信研究

機構(NICT) 協力団体:LINE株式会社、情報法制研究所





スマホ上のAIチャットボットによって、被災者一人一人からタイムリーで正確かつ詳細な被災情報を収集し、災害対応で有効活用

AI防災チャットボット(WNI)



地図データ©2018 Google, ZENRIN

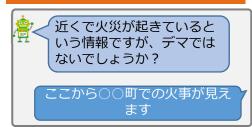
DISAANA・D-SUMM (NICT) による収集情報の可視化



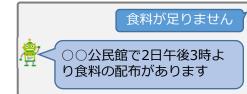
**5P** による各種災害情報(建物・インフラ・人的被害等) との統合処理と意思決定支援(NIED)

#### 【今後の予定】さらに機能を追加

情報の信憑性を現場の被災者 に確認。デマを排除



被災者一人一人の状況に合わせ、避難や生活で必要な正確な情報をタイムリーに提供



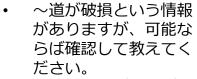
#### 【最終目標】

- 以上のような情報収集、提供作業をAIとチャットボットに行わせ、救援団体で必要なマンパワーを増やすことなく、より多くの被災者を適切にケア
- 巨大災害時の避難・被災者支援において、AI とチャットボットが<u>国民一人ひとりに寄り添い、助ける</u>社会を 目指します



### 神戸市での実証実験(2018.12.21) 概要

• 確かに~は大きく 破損していて車も 通れません。



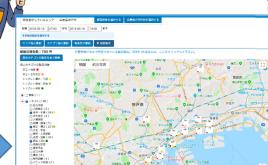
他にも被害があれば教 えてください。

災害対策本部



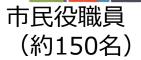
整理・可視化された 結果に基づいて検討





DISAANA・D-SUMMによる 情報の整理・可視化

#### LINE公式 アカウン



- 長田区で火災が起きています
- ~で建物が倒壊しています
- ~で道路が破損しています
- ~で生き埋めになっている人がいる

阪神・淡路大 震災 (想定)



防災

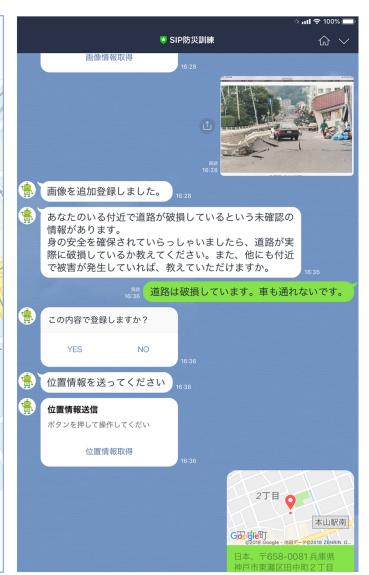
チャットボット



### 防災チャットボットスクリーンショット













- •災害時にSNSを有用な情報源として活用 するシステムDISAANA・D-SUMMを紹介
- 防災チャットボットSOCDAのコンセプト と一部の実証実験を紹介

https://disaana.jp





# 以下、補足資料





# DISAANA・D-SUMMの技術





# DISAANAの特徴: 地名処理

地名とその詳細な住所を対応づけるための辞書を整備し、地名の階層性を考慮して検索できるようにする



「米子駅で火災が発生しています」



取県:米子市:弥生町と拡張



鳥取県発生

検索

鳥取県では何が発生し ているのかしら?

日本全国をカバーする400万件の辞書を整備





### D-SUMMにおける被災報告の要約

(1)被災報告の抽出:DISAANAと同様の仕組みで抽出

津波が発生している(75)

津波で寸断される(20)

大津波が発生している(32)

延焼がひどい (20)

火事が発生している(52)

火災が発生する(22)

大火災を起こす(12)

大火がある(1)

(2)類似表現の集約による要約と場所情報の整理



津波・高潮が発生している(127)

仙台市(50) 名取市(18) 東松島市(15)・・・

火災が発生している(107)

気仙沼市(52) 仙台市(22) 石巻市(19)・・・

被災報告が膨大な場合でも、短時間で被災状況全体を把握可能で、場所毎の被災状況把握も容易に



### 被災報告の自動抽出技術(1)

- 大規模災害時のような逼迫した状況で質問を悠長に考えることは困難
- エリアを指定するだけでそのエリアの被災報告(例:~で毛 布が足りない)を自動抽出
- ・さらに被災報告に対応する**救援報告**(例:~に毛布が届いた)も自動抽出し、被災報告に対応づけて出力

被災報告/救援報告をどう捉えるか

1組の名詞と述語(助詞含む)の組み合わせ

例: 食料が足りない / 水が届いた

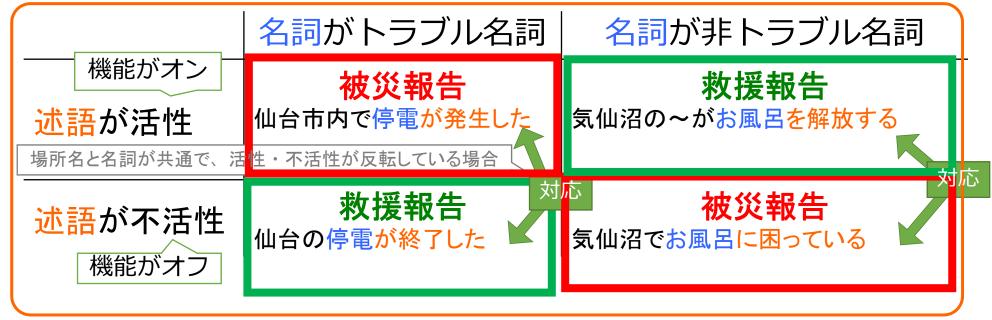




### 被災報告の自動抽出技術(2)



(1)以下の基本原則を例文とともにコンピュータに教える



※トラブル名詞辞書:災害、犯罪、トラブル、病名など約2万件の辞書

(2)機械学習結果に基づいて自動抽出

**▽「いわきの**~病院は透析を中止します」

地名(いわき)と名詞(透析) が同一で活性・不活性が反対



被災報告

対応あり

**いわきの○○クリニックで透析が可能です**」



救援報告





## 情報のフィルタリング(1)

Twitterでは何でもかけるので、災害に関連の深い語が災害、被災の報告以外の目的で書かれることがある

## →通常の被災報告とは区別

- ・過去の災害・事件等に関する書き込み
- ・宣伝など
  - ず「○○市の交通事故治療のプロ~整骨院。○○市
    ○○町」
- ・冗談と考えられる表現など
  - 」「地震Ψ( `▽´)Ψ、津波(笑)」
- ・慣用句
  - ☞ 「対岸の火事」





## 情報のフィルタリング(2)

具体的にどのように対応しているか: 現状は、過去の災害記事等を参考に、見つけ次第、これらの情報を検出し、区別するためのルールをシステムに加えている

- ユーザが指定するオプションによってこれらの情報の表示/非表示を切り替え可能
- ・デリケートな表現もあり、現状では自動化はリスクが大きい
- ・自動化は、いずれ高精度が達成でき次第、導入予定



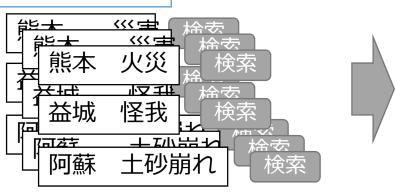
### DISAANA&D-SUMMを支える言語データ

- ・ 同義パターン辞書(3億エントリ)
  - 毛布がない⇔毛布が足りない / Xが不足する⇔Xが枯渇する
- 矛盾パターン辞書(250万エントリ)
  - 牛乳が買えた⇔牛乳が売り切れ / Xが売り切れる⇔Xを入手する
- ・被災報告自動検出用学習データ
  - 11万事例: [例] 水/が/ない→被災報告 水/が/届いた→対応策
  - ・ 2020年1月現在新形式のデータを整備中
- ・ 災害オントロジー(2800万語)
  - 現在は2階層:[例]災害-地震、トラブル-遅延
  - 1階層目を20万語を人手で整備し、半自動的に拡張
  - 2階層目は20万語を人手で分類。その後40万語まで半自動的に拡張。残りは作業中
- ・ 地名辞書(402万エントリ)
  - 郵便番号データベース、Wikipediaから自動構築
  - ・ 電話帳データベース(購入データ)により主要ランドマークを追加



### DFRECT キーワード検索 vs. D-SUMM

#### キーワード検索



- 膨大な検索結果を目視で確認
- 重要な情報を人手で抽出し集計

限られた時間では一部の情報しか発見できず、大局を把握することは不可能

- エリア名と災害用語の膨大な組み合わせを検索する必要
- ランドマーク等は個別に検索する必要

D-SUMM



- ボタンーつで県下の市町村ごとに一瞬で 要約表示
- どこで何が起きているかの把握が容易





- ・ 市町村下のレベルでも場所毎に要約
- カテゴリ毎の要約により、要救助者等 の発見も容易





### DISAANA vs. D-SUMM

DISAANA

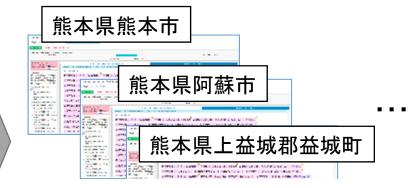


- 膨大な被災報告
- 場所毎に整理されていないため県下の市 町村について、それぞれ質問やエリア指 定を行って検索する必要がある

D-SUMM



- ボタンーつで県下の市町村ごとに要約表示
- どこで何が起きているかの把握が容易



仮に県下の全市町村について検索しても被災報告が膨大となり、市町村毎の被災状況、 あるいはその全体像は把握が難しい



- 市町村下のレベルでも場所毎に要約
- カテゴリ毎の要約により、要救助者等 の発見も容易





# DISAANA・D-SUMMの社会実装





### 自治体の防災訓練等での活用にむけて

- これらのシステムを実際の災害時に使いこなすためには、常日頃から使用し、慣れておくことが大切
  - ▶【急には思うように使えない】
- 問題:任意のエリアで、災害時想定の試用ができない
  - ▶ 【任意のエリアの大規模災害データはない】
- 解決方法: 防災訓練のシナリオ(状況付与)にあわせて、想定されるSNSへの書き込みを作成し、それを用いてシミュレーション
  - ▶【自分が住んでいるところで、訓練したい災害をシミュレーション】
- 事例: H27年1月宮崎県宮崎市、延岡市にて実証実験、H29年1月 31日東京都図上訓練、H29年4月25日大分県総合防災訓練(図上 訓練)にて上記のシミュレーションによる活用を実施





### 自治体等における図上訓練

目的のエリアで想定する災害が起きた場合のSNSへの投稿内容をシミュレート。そのデータ作成に大きく分けて2つの方法

#### オンラインデータ作成

- ▶方法:地元のボランティアや防災士等を会議室等に50名以上集め、 訓練時に状況付与に応じてその場で投稿し、DISAANAで分析
- ▶メリット・デメリット:非常にリアルなデータ(投稿内容)が得られる一方、準備や、実施に非常にコストがかかる。
- >これまでの実施自治体:宮崎県(宮崎市、延岡市)

#### オフラインデータ作成

- ▶方法:あらかじめ状況付与に基づいて投稿内容(相対時間つき)を 作成しておき、訓練時にそれを自動的に投稿し、DISAANAで分析
- ▶メリット・デメリット:投稿内容を作成する作業者に土地勘がない場合は、不自然なデータとなる可能性も。反面、オンラインデータ作成に比べ、非常に安価に実施できる。
- ▶これまでの実施自治体:東京都、大分県、岩手県

### 2種類をあわせてハイブリッドで実施することも可能





# 宮崎県における実証実験(1)

- 宮崎県総合防災訓練にてDISAANAをデモンストレーション(H26年10月19日)
- 2. 宮崎市、延岡市にて防災訓練(机上訓練)を通して実証実験を実施 (H27年1月、2月) オンラインデータ作成
  - それぞれの訓練にて約50名の防災士、大学生等のボランティアが災害の想定 被災状況をSNSに発信(2時間半の訓練で2000件以上の書き込み)
  - 現地自治体の防災担当者、消防署職員が本システムを活用して、書き込みを分析。救援、避難の意思決定、指示で活用。
  - 実験後のアンケートでは、参加した自治体職員から全員「災害時に役立つ」というご意見をいただき、その他の参加者からも好評を得ており、フィードバックを DISAANAに反映









# 宮崎県における実証実験(2)

① 被害状況を災害掲示板 へ書き込む



家屋が浸水 しています

有田地区の避難所で30 名分の毛布が足りません

一般市民役被験者

③ 書き込み結果がシステムの出力に現れているか確認。現れていなければ、文面を変えてもう一度書き込み

▼チェックを入れた対応状況の回答候補を表示

全選択を解除

☑未着手 ☑着手 ☑解決 ☑デマ認定

状況毎の絞り込みも可能

発見した被災報告に対して災害対策本部 側で対応状況やコメントを書き込める公 開版とは異なる専用のシステムを使用



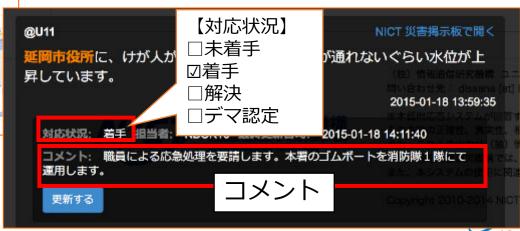
② システムで分析

Twitterではなく専用 の掲示板を使用



④ 分析結果を災害対策本部で確認し、 必要に応じて情報発信

対災害SNS情報分析システム DISAANA



### DFRECT 自治体での防災訓練での活用(オフラインデータ作成)

自治体の防災訓練等で、状況付与に対応したSNS投稿データを準備し、災害時のSNSをシミュレート。各投稿データには、発災からの相対時間を付与し、それに基づき訓練時にSNSへ投稿し、DISAANA・D-SUMMで分析、要約する

- 1. 状況付与(訓練シナリオ)を用意(2ヶ月前が目安)
- 2. 状況付与に基づいてSNSの投稿データを半自動で用意
  - 【例】 0:15:35 ○○市△△3丁目付近で火災が起きています。消防 に電話が繋がりません。Twitterは大丈夫です。
  - 要望に応じて、デマ情報なども作成
  - 自治体側で用意いただくことで、リアルなデータを作成可能だが、 いずれにせよ、この部分はかなり大変。
- 3. 訓練時:発災からの経過時間にあわせてデータを自動投稿し、即時解析、DISAANA・D-SUMMで検出可能に

これまでに東京都(H29年1月)、大分県(H29年4月)上記形式にて訓練。 8/25に岩手県でも実施予定だったが、災害対応のため中止に。

ご興味があればお声がけください!





# H28年度東京都図上訓練での活用

目的:発災直後の混乱時においてSNS等の情報を活用するため、DISAANA, D-SUMMの使用 に慣れて頂くとともに、システムの検証を行う

訓練時の時間経

災害掲示板へ書き込む被害 状況を事前に用意する

過にあわせて自 動的に書き込み 掲示板 プロトタイプ

掲示板書き込み プログラム

災害掲示板(SNS)

システムで分析



XXの避難所がいっぱいで す。足の悪い母がいて困 っています。

事前に7,000件以上の書 き込みを用意



~の火事がXXま で広がっています

XXで火災が発生

しています

訓練の際には、状況に応じてNICT の職員がオンラインで即興の書き 込みを実施







分析、要約結果を確認 し、必要に応じて対応 を実施

#### 【訓練概要】

日時: H29年1月31日10:00-16:00 想定:首都直下地震(津波なし) 参加者:都職員、政府関係職員等

280名



## H28年度東京都図上訓練での様子





D-SUMMの分析結果に基づいて情報分析状況 を検討する東京都職員



東京都図上訓練におけるDISAANA, D-SUMM活用 上のポイント

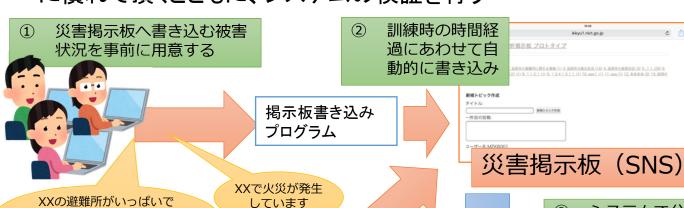
- 発見した災害関連情報があれば、印刷して、会 議等で共有。別途災害情報システム(DIS)へも投 入
- 印刷機能を多用
- 職員からは、概ね好印象
- 危機管理監からは、今後はこういったシステムを 職員が使いこなせなければならないとのコメント





### H29年度大分県総合防災訓練(図上訓練)での DISAANA, D-SUMMの活用

目的:発災直後の混乱時においてSNS等の情報を活用するため、DISAANA, D-SUMMの使用に慣れて頂くとともに、システムの検証を行う



大分県災害対策本部

事前に5,800件以上の書 き込みを用意

す。足の悪い母がいて困

っています。



訓練の際には、状況に応じてNICT の職員がオンラインで即興の書き込みを実施







システムで分析

④ 分析、要約結果を確認 し、必要に応じて対応 を実施

#### 【訓練概要】

日時:H29年4月25日8:30-16:30

想定:南海トラフ巨大地震

(津波あり)

参加者:県や市町村、自衛隊など

から54機関、約640名



#### H29年度大分県総合防災訓練(図上訓練)での様子





約20名の情報収集班。エリア毎に職員を割り当て情報収集を実施(DISAANA・D-SUMMを活用するのは1名のみ)

#### 大分県図上訓練におけるDISAANA、D-SUMM活用のポイント

- 発見した災害関連情報を手書きで起票し、情報共有、確認などを実施
- デマの発生を盛り込んだ状況付与
- ・ デマの発生について、実際にシステム上でそれを認識し、担当者に確認の上、デマと認定 するところまで訓練
- 実際に操作した職員からは、特に操作上困ることは無かったとのコメント。改善点(既読がわかるとよりよい)の指摘



### 自治体等の防災訓練での課題

- ・ 状況付与 (訓練シナリオ) の妥当性
  - 本当に深刻な状況が十分に反映されているか?
  - こんなことは起きっこない、という思い込みが含まれていないか?
  - 過去の経験が十分に反映されているか?
- ・投稿データの妥当性
  - 非現実的な投稿が含まれていないか?
    - 緊急に避難しなければいけない状況で投稿ができるか?
  - 現実的な量の投稿か?
- 訓練の成果は、潜在的な投稿者である一般市民にも周知、 フィードバックが必要
  - 投稿すれば良い結果が得られるという確信を持ってもらう必要
- 投稿データの妥当性に関するガイドラインや一般市民への 周知の必要性



### **D**<sup>f</sup>RECT

### 今後の展開

- ・技術開発は高度な救援活動実現のごく一部
- DISAANA、D-SUMMは自治体等の防災システムやサービスとしての展開がない限り、永続的な利用は不可能
  - NICTからのDISAANA、D-SUMMはあくまで研究成果の試験公開であって、計算機等のリソースがなくなれば、公開は終了せざるを得ない
- 総務省の研究開発プロジェクトと共同して、自治体、 インフラ系企業等を対象としたビジネスとして成立させる必要
- これらが実現して初めて、大規模災害であっても被災地の状況が手に取るように分かり、また、被災者各々の状況、ニーズに寄り添った高度で「泥縄ではない」救援活動が可能になる

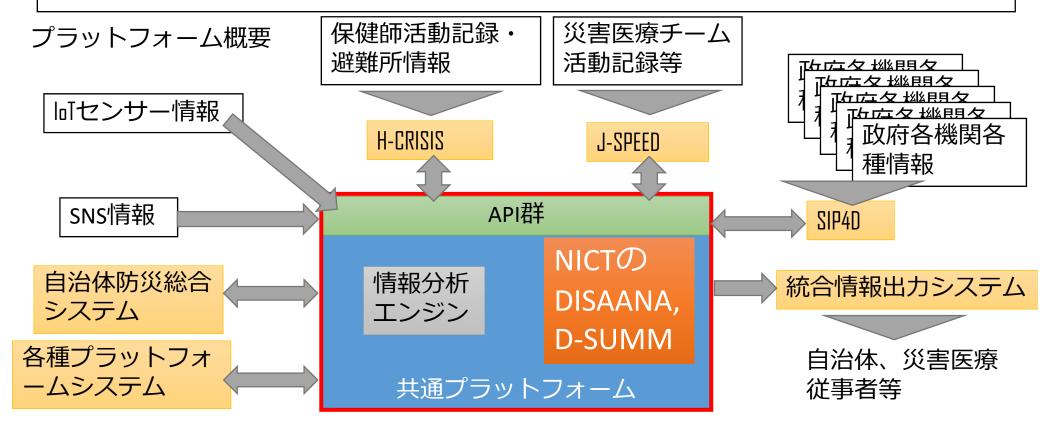


#### 総務省「loT/BD/AI情報通信プラットフォーム」 社会実装推進事業

アビームコンサルティング株式会社が受託

H29年度から3年間

NICTのこれまでの研究成果を活用しつつ災害に限らず国民の安全安心を確保するため、 多様なデータに対しビッグデータ処理、高度自然言語処理をし、有益な情報を様々な利 用者に提供する世界初の高度自然言語処理プラットフォームの研究開発を実施



- 災害時の効率的な情報収集、共有は東南海地震、東京直下型等を考えると緊急の課題
- このAIプラットフォームで防災、減災に対する考え方、取り組み全体を変えたい

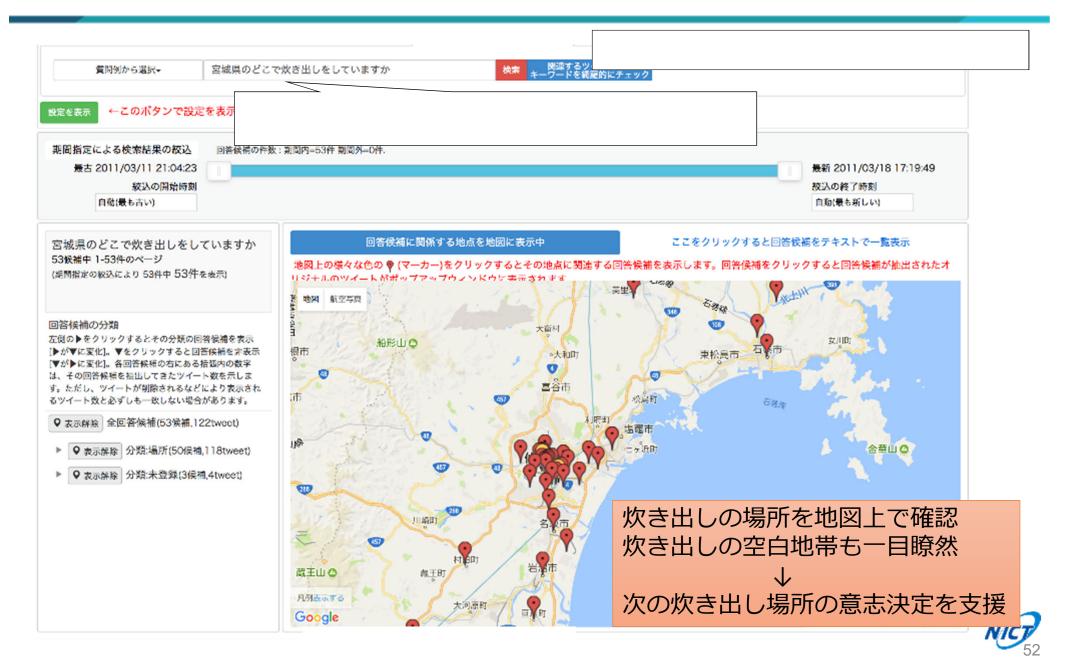


# DISAANA・D-SUMMの動作例





### DISAANA質問応答例





### H30年7月豪雨DISAANA動作例(広島県)



### DFRECT H30年7月豪雨:岡山県倉敷市、氾濫・冠水等の状況



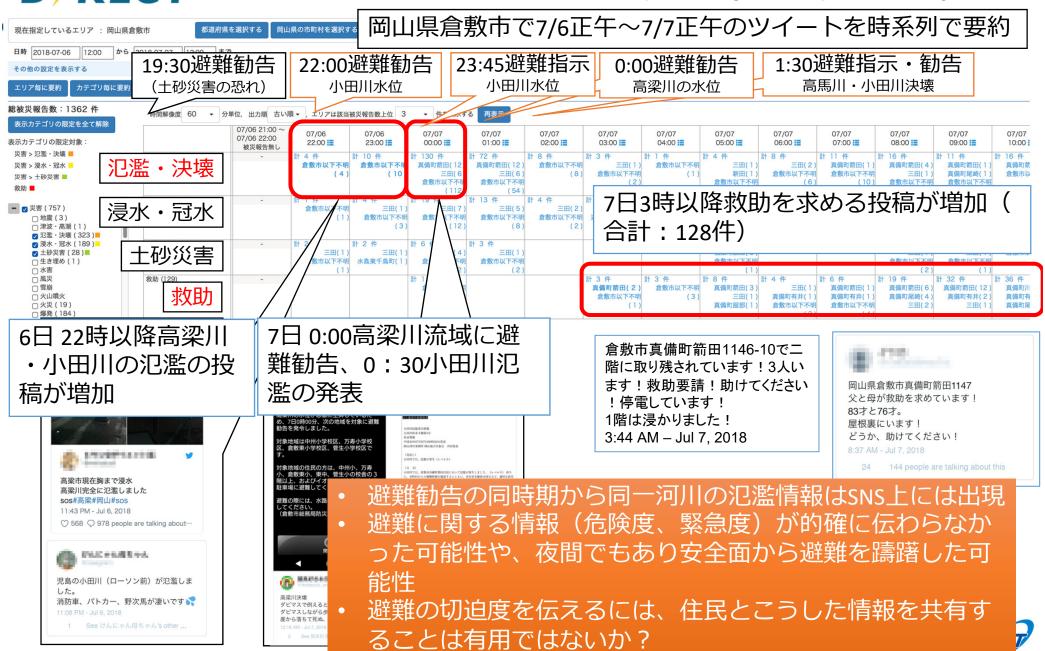


### DFRECT H30年7月豪雨:岡山県倉敷市、救助要請等の状況





#### H30年7月豪雨D-SUMM動作例(岡山県倉敷市)





### 大阪北部地震(2018.6.18)







### 大阪北部地震(2018年6月18日)

NG D-SUMM 災害状況要約システ	·¼ リアルタイム版	_	NICTでは他にも類似システムを公開中 ~	<b>♪</b> お知らせ
D-SUMMは、Twitter上の災害	── 情報を分かりやすく整理	L !・要約するシステムです。		
▶ 使い方 その他のバージョンは	こちら ≯D-SUMM熊本	は は は は は は は は は は り は り し り り り り り り	<b>汕版</b>	
現在指定しているエリア : 大阪	府	即道府県を選択する 大阪府の市町村を	<b>全選択する</b>	
Hat some to be to the		まで 現在時刻から X時間前まで	を日時に設定 ▼ 最新の結果に更新	
日時 2018-06-18 08:00 から	2018-06-18 09:00	まで 現在時刻から X時間前まで	で口時に設定 ▼ 最初の粘米に更新	
エリア毎に要約 カテゴリ毎に要	約 時系列で要約 ♥	地図表示		
	# 1 日 未 2 月 日 未 2 月 日 日 未 2 月 日 日 未 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 末 2 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	<b>一地四</b> 数水		
総被災報告数:425 件 表示カテゴリの限定を全て解除	災害(256) ♥	地震がおきている(236)▼ 大阪市 (120) 茨木市(5) 高槻市(5) 堺市(4)	津波・高潮がおきている(8)▼ ↑ 大阪市 豊中 (4) 堺市(2) 大阪府以下不明(2)	氾濫・決壊がおきている(1)▼
表示力テゴリの限定対象:	)	市(3) 寝屋川市(1) 島本町(1) 枚方市(		
なし (地図表示での■は全力テゴリを集約		阪府以下不明(96)		市(1) 大阪府以下不明(1)
+ □ 災害 ( 256 )		悪天候がおきている(1)▼	)	
+ □ 救助	トラブル(51) 🗘	運休・不通になっている(25)▼ ♥ 大阪市 (17) 高槻市(2) 東大阪市(1) 茨木市(1) 7 阪府以下不明(4)		被害・損害がおきている(8)▼
+ 🗆 トラブル ( 51 )			L) 大 (1) 高槻市(1) 渋滞・混雑がおきている(2) ▼ ◇ 大阪市	(6) 吹田市(1) 茨木市(1) 遅延がおきている(5)▼ ◆ 大阪市(3) 摂済
<b>+</b> □ アラート(2)			(2)	市(1) 大阪府以下不明(1)
+     □ 怪我       +     □ 気象 (1)		振動がおきている(1)▼	不明 散乱が発生している(5) ▼	トラブルー般がおきている(3)▼ ○ 高槻市 (2) 大阪市(1)
+ □建物(9)	アラート(2) 🗣			(L) XWAID(L)
<b>+</b> □ ライフライン (46)	/ J ((E) \	命令・指示・勧告が発生している(2)▼ 大阪市(1) 摂津市(1)	•	
+ 道路(3)	気象(1) ♀	風が吹く(1) ▼ ◇ 大阪府以下不明(1)		
→ □ 不足	建物(9) ♀			MD \$457400 A 457400 \$4
+     □ 自治体・住所(3)       +     □ 地名:固有名	~=!!!(=)	建物・インフラ被害が発生する(6)▼ 阪市(2) <u>高槻市(2)</u> 枚方市(1) <b>茨木</b> 市(		<ul><li>部屋・室内が歪む(2)▼</li></ul>





### 大阪北部地震(2018.6.18)



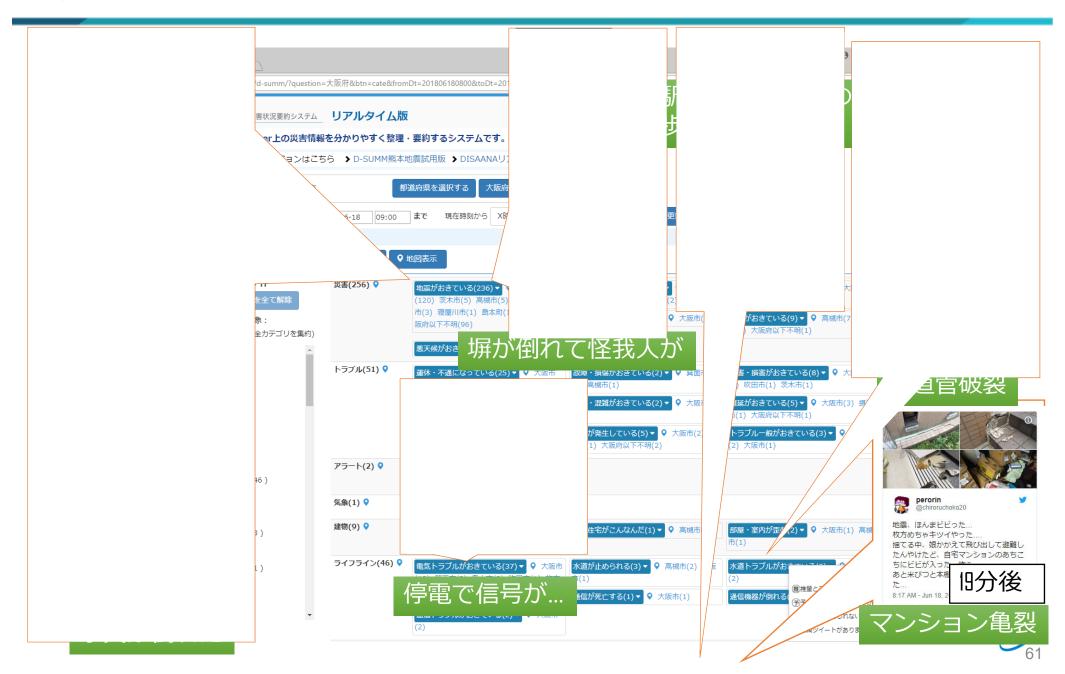


### 大阪北部地震(2018.6.18)





### 大阪北部地震(2018年6月18日)





### D-SUMM: 地図表示例(熊本地震)



### **D**<sup>\*</sup>**RECT**

#### NICT災害状況要約システムD-SUMM 平成30年北海道胆振東部地震 動作例(2)









### DISAANA・D-SUMMに関する連絡先

耐災害ICT研究センター 応用領域研究室 大竹清敬(おおたけきよのり)

E-mail: disaana@khn.nict.go.jp

電話: 0774-98-6329

普段の居所:

〒619-0289

京都府相楽郡精華町光台3-5

NICTユニバーサルコミュニケーション研究所

